

製品名: MRE11 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80676**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	ERBB3
別名	HER3; LCCS2
遺伝子 ID	2065.0
SwissProt ID	P21860
免疫原	大腸菌で発現した ERBB3 (aa1175-1275) の精製された組み換え断片。

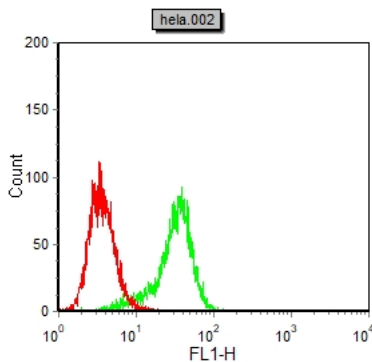
背景

ERBB3: v-erb-b2 赤芽球性白血病ウイルス癌遺伝子ホモログ 3 (鳥類)。この遺伝子は、上皮成長因子受容体 (EGFR) ファミリーの受容体チロシンキナーゼのメンバーをコードしています。この膜結合タンパク質は、ニューレグリン結合ドメインを有しますが、活

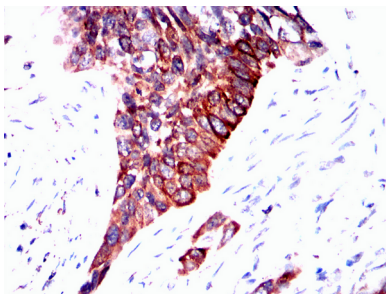
性キナーゼドメインは有しません。そのため、このリガンドに結合することはできませんが、タンパク質リン酸化を介して細胞内にシグナルを伝達することはできません。しかし、キナーゼ活性を持つ他の EGF 受容体ファミリーメンバーとヘテロ二量体を形成します。ヘテロ二量体形成は、細胞増殖または分化につながる経路の活性化につながります。この遺伝子の増幅および/またはタンパク質の過剰発現は、前立腺がん、膀胱がん、乳がんなど、多くのがんにおいて報告されています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられています。1つのアイソフォームは膜間領域を欠き、細胞外に分泌されます。この形態は膜結合型の活性を調節する働きをする。追加のスプライスバリエントも報告されているが、それらは十分に特徴づけられていない。

研究分野

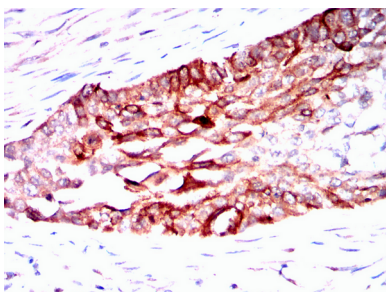
画像データ



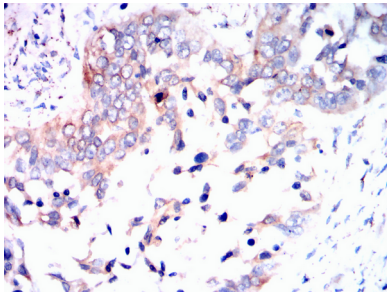
ERBB3 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



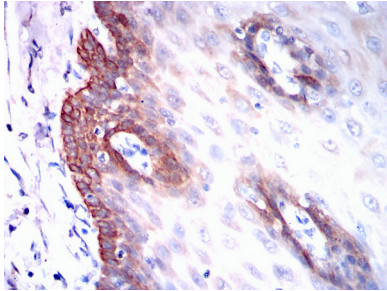
ERBB3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋肺癌組織の免疫組織化学分析



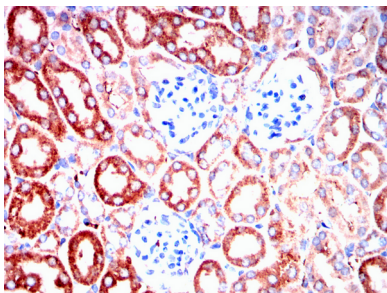
ERBB3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋肺癌組織の免疫組織化学分析。



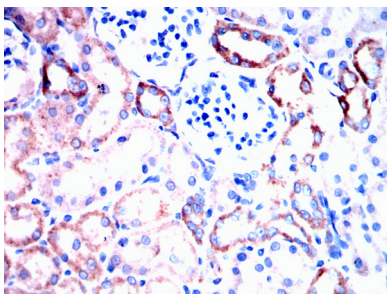
ERBB3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋食道癌組織の免疫組織化学分析。



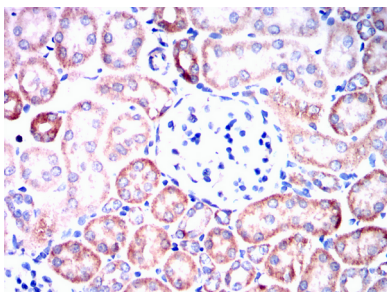
DAB 染色による *** マウス mAb を使用したパラフィン包埋食道癌組織の免疫組織化学分析。



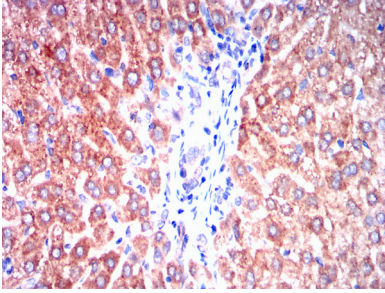
ERBB3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学分析。



ERBB3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学分析。



ERBB3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ腎臓組織の免疫組織化学分析。



ERBB3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ肝臓組織の免疫組織化学分析。